

# 「小さな親切」運動静岡県本部賞

## ここに在る意味

静岡市立安倍川中学校 三年

石津 はる



私ってなんだろう。私がここに在る意味ってなんだろう。私は、中学生になってからそう考えることが多くなった気がする。みんなと同じ制服を着て、みんなと同じように授業を受けて、みんなと同じ二十四時間を過ごしているのに、何となく自分より劣っているように感じてしまう。頭を抱える程悩んだわけではないけれど、ふとした瞬間に考えることがあった。

去年の冬、私は体調を崩して入院することになった。入院しなければならぬくらい体調が悪いのは自分でも分かっていた。

ただ、入院が決まって一番最初に思ったことは、自分の心配よりも、「勉強が遅れてしまう」ということ。私には、自信を持って「誰にも負けない」と言えるものが何もなかった。だから、勉強だけでもがんばろうと思っていたのに、これで遅れをとって勉強をがんばることすらできなくなってしまったら、本当に私の価値がなくなってしまうのではないかと思っただ。とても怖くて、苦しかった。入院してしばらくしても、学校や勉強のことを考えない日は無かった。今頃みんなは勉強し

ているのに、私はしていない。焦る気持ちと申し訳ない気持ちで毎日のように自分を責めた。

そして半年後、待ちに待った登校日。前日の夜は楽しみで眠れなかったのに、いざ学校へ行くとなったら急に不安な気持ちが押し寄せてきた。涙が出てきそうで、車で学校まで送ってくれた母の手をなかなか離すことができなかった。気持ちを固め、うるさいくらいに鳴る心臓の音を聞きながらゆっくりと教室へ向かい、顔を上げて中へ入ると、

「おかえり」

みんなの温かい声と、黒板に描かれた私の似顔絵、みんなからのメッセージ。その光景を見て、先程までの不安がどこかへ飛んでいった。みんなより遅いスタートだったけれど、みんなは私をクラスの一人として、温かく迎えてくれた。私は何回「ありがとう」と言っただろう。不安の涙とは違う、また別の涙が出てきそうだった。

そこでようやく、気づくことができた。私がかここにいる意味を。それは、当たり前のように親切にしてくれる家族、先生、友だちに日々感謝をして、自分なりの親切を返すこと。悪く考えやすい性格はなかなか変わらないし、毎日笑って過ごすことは難しい。だけど、私がかここにいる意味が無くなることはない。だから、私は私を受け入れ、顔を上げて歩いていきたいと思う。

家族、先生、友だちのみんな、いつも親切にしてくれてありがとう。私がかここにいる意味を気づかせてくれて、ありがとう。

